

筑波経済月報 No.114 2023.

1

■ 企業探訪

社会のあらゆるニーズに応える建物を提供するプロフェッショナル集団
坂東工業株式会社

■ 支店長のわがまち紹介

つくばスーパーサイエンスシティ構想で未来を先取りする
つくば市

■ 新春レポート

2023年の国内外経済の展望と新年の話題について

■ 健康経営のすすめ

今こそ健康経営の取り組みを

筑波総研 株式会社



つくば市周辺市街地「R8」のまちづくり

つくば市は、6町村が合併・編入合併して2002(平成14)年11月に今のかたちとなりました。現在は、市の中心部・TX沿線に人口が集中し、それ以外の地域は人口減少や利便性の低下など様々な課題を抱えています。

合併前の旧町村時代から生活の拠点として発展してきた8つの市街地「北条」「小田」「吉沼」「大曾根」「上郷」「栄」「谷田部」「高見原」を、市の周辺部に位置していることから「周辺市街地(愛称:R8)」と呼び、各地域の振興に取り組んでいます。R8のまちづくり活動の一部をご紹介します。



iriai Tempo (iriai Tempo ホームページより)



クラフトライフ

地元の自然環境や文化を活かして地域に密着し、新たな仕事や生活を自らの手でつくるライフスタイルを、「クラフトライフ」と呼んでいます。周辺市街地には、野菜等、地域の食材を提供するレストランや酒造りなど充実したクラフトライフを送る人たちが多数居住しています。

古民家利用のiriai Tempo

iriai Tempoは、北条の築約100年の古民家をリノベーションして、たまり場・地域物産品の販売・スペース貸しを行う場所です。もう一つの居場所＝サードプレイスとしてみんなで作り、育てていく場所を目指しています。



田倉の三匹獅子

田倉の三匹獅子

2021年3月に豊里・田倉の八幡神社で市指定無形民俗文化財「田倉の三匹獅子」が36年ぶりに復活しました。江戸時代中期に始まり、雄獅子・雌獅子・子獅子からなり、厄災をはらう舞いを踊る獅子舞で、定期的に舞うものではなかったことなどから1985(昭和60)年の国際科学技術博覧会での披露を最後に途絶えていました。地域住民がつくる田倉三匹獅子保存会が中心となって復活させ、新型コロナウイルス収束の祈りを込めた演舞が舞われました。



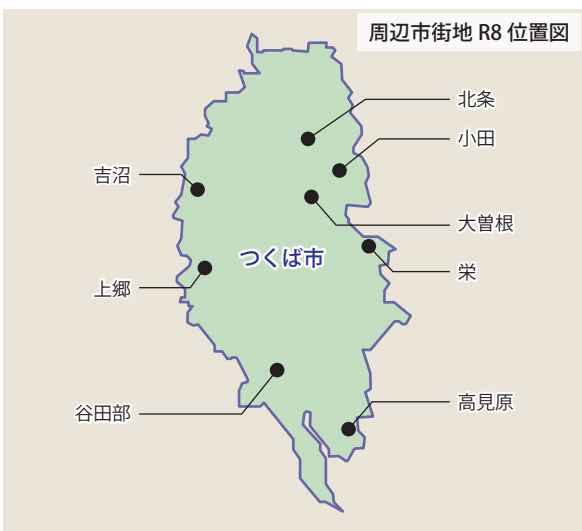
つくばR8アイデアソン

つくばR8アイデアソン

参加者がチームとなって地域づくり活動の企画から実証までを自分たちの力で挑戦する実践型プログラムです。審査で選ばれたアイデアには実証委託費が支給され、各周辺市街地でアイデアの実証に挑戦していきます。地域づくりの経験が豊富なメンターや有識者によるアドバイスを受けながら、参加者1人1人の経験や強みをチームで生かして、アイデアの可能性を広げていく活動です。

表紙：つくばエキスポセンター

1985(昭和60)年の国際科学技術博覧会の閉幕後、最新の科学技術や身近な科学に親しみを持ってもらえるよう、つくば市中心部に開設されました。世界最大級規模のプラネタリウムや、屋外に展示されている実物大のH-II型ロケットの模型が特徴です。



(写真提供/つくば市)